

■ はじめに

アップグレード操作を実行される前に、show version コマンドにより、現在 RMC で移動しているソフトウェアのバージョンをご確認下さい。Software Version の項目が Ver2.0.2 である場合は、アップグレードの必要はありません。

Ver2.0.2 と旧リリースとの相違等は、RMC リリースノート Version2.0.2 (RMCRN202.PDF)に記載されております。あらかじめ機能的な相違をご確認の上、アップグレード作業を行ってください。

RMC ソフトウェアのアップグレードは、Windows 端末に必要なソフトウェアをダウンロードし、この端末から telnet 接続を利用して実行します。

■ 端末の準備とダウンロード

対象 RMC へ LAN(TCP/IP)接続可能な Windows 端末(98/2000 推奨)を準備します。
弊社ホームページの Support ページより、RMCUPDWIN202.EXE をダウンロードします。(Internet Explorer4.0 以上推奨)

■ アップグレードの準備 (RMC 設定情報の保存)

- ① RMC に telnet 接続を実行し、特権モード(enable)に移行します。(Tera Term 推奨)
(telnet 接続中は set exec-timeout による session timeout にご注意下さい)



- ② show running config コマンドを実行して、現在の設定内容を控えておきます。

```
RouteMagic Controller Ver 1.1.2 myrmc 15:14 on Friday, 08 March 2002
myrmc login: rmc
Password:
RouteMagic Controller.
Copyright (C) 2001 Routrek Networks, Inc. All Rights Reserved.
myrmc> enable
password:
[myrmc]# shor running-config
```

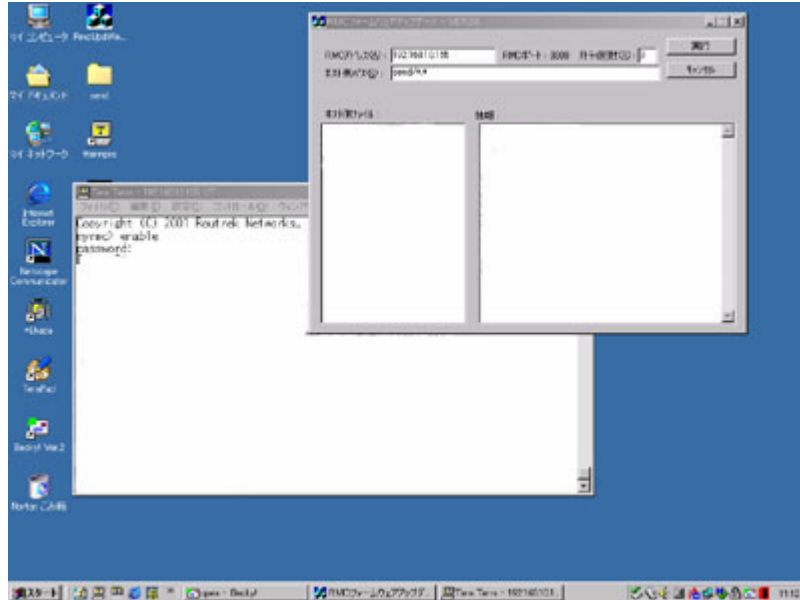
- ③ write memory コマンドを実行し、現在の設定内容を保存します。

```
;
set user-name rmc
;
set prompt
ok
[myrmc]# write memory
以前の保存された設定情報は上書きされます。
実行しますか。 [y]es/[n]o: y
ok
[myrmc]#
```

- ④ 設定情報の保存が完了したら、reload コマンドを実行して RMC を再起動させます。

■ダウンロードファイルの解凍と起動

- ① ダウンロードした RMCUPDWIN202.EXE ファイルをダブルクリックして自己解凍を行います。RMCUPDWIN202.EXE は自己解凍形後、自動的に RmcUpdWin.exe を起動させます。



■アップグレードの実行

- ① 前述の「アップグレードの準備」が完了し RMC を再起動させたら、再度、対象 RMC に telnet 接続を実行して特権モードに移行します。
(telnet 接続中は set exec-timeout による session timeout にご注意下さい)
- ② upgrade コマンドを実行。[Y]を選択して RMC を ready(待機状態)にします。

```
[myrmc]# upgrade
アップグレード後再起動するので、保存していない設定は破棄されます
アップグレードを実行してもよろしいですか。 [y]es/[n]o: y
ファイル受信をします(CTRL-Cで中止)。
RMCのIPアドレスは 192.168.10.113 です。

*** RMCファームウェアアップデート - Ver 1.0 (PORT=8888) ***

ready ...
```

- ③ RMC ソフトウェアアップグレードの【RMC アドレス欄】に、対象となる RMC の IP アドレスを入力します。
【ホスト側パス】はデフォルト値を使用します。(RMC アドレス欄以外は変更不要です)
【実行】をクリックするとアップデートファイルの転送がスタートします。

